

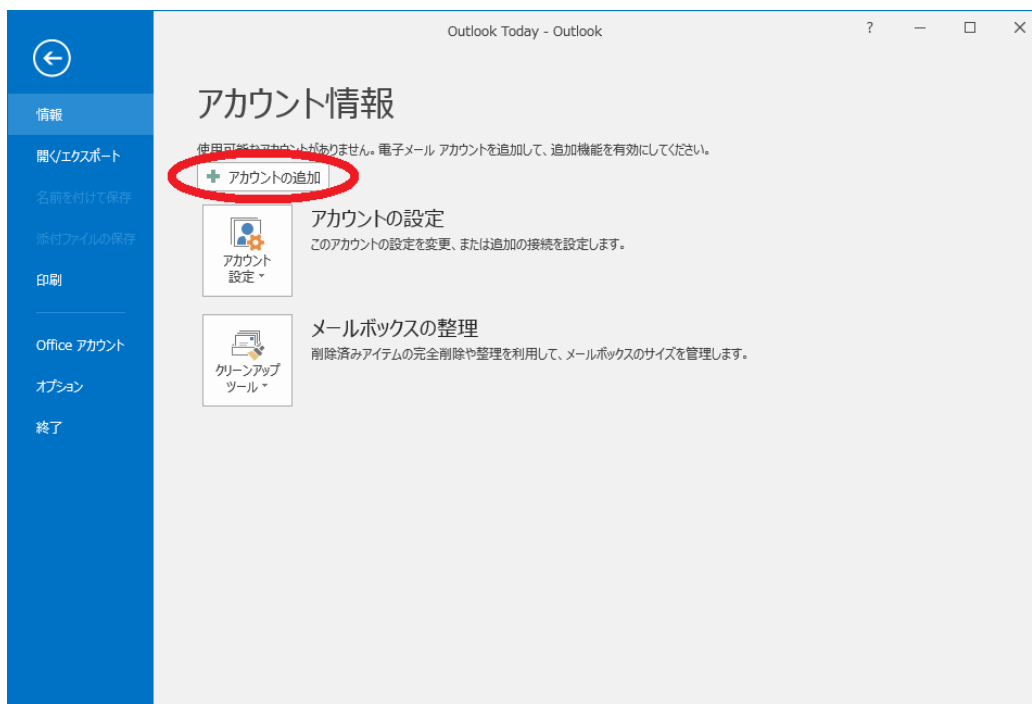
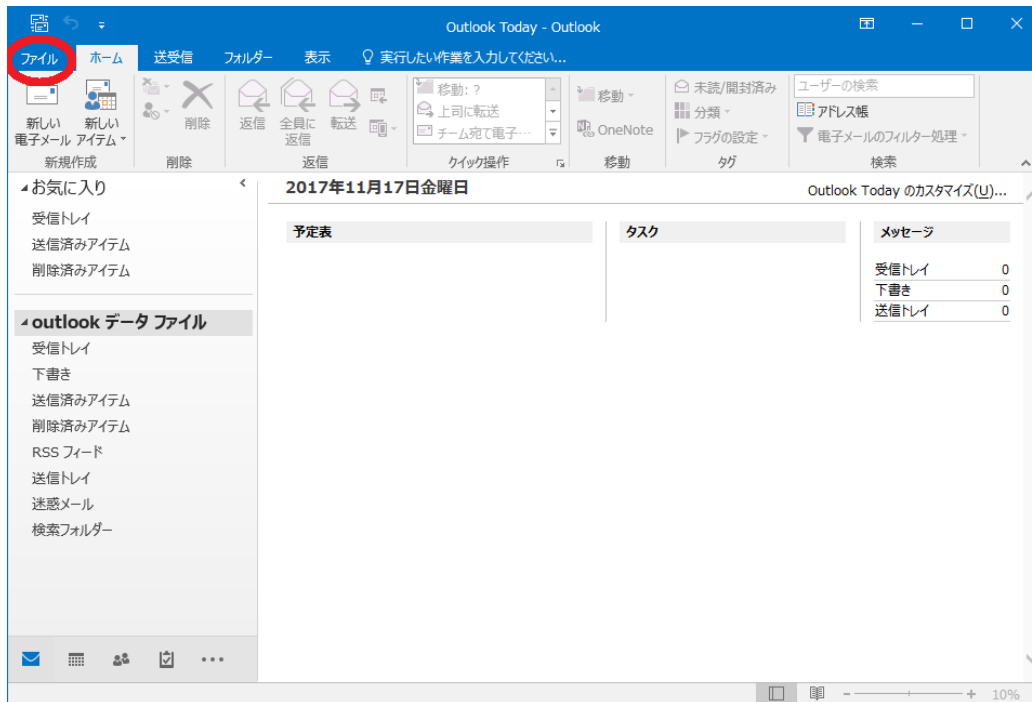
# Microsoft Outlook 2016 の設定

この項目では、Microsoft Outlook 2016 の設定手順について記載しております。他のバージョンをお使いの場合、設定画面が若干異なる場合がございます。また、既に Windows Live メール等他のメールソフトをお使いの場合は、本項目を設定していただく必要はございません。設定前にインターネットに接続していることをご確認ください。

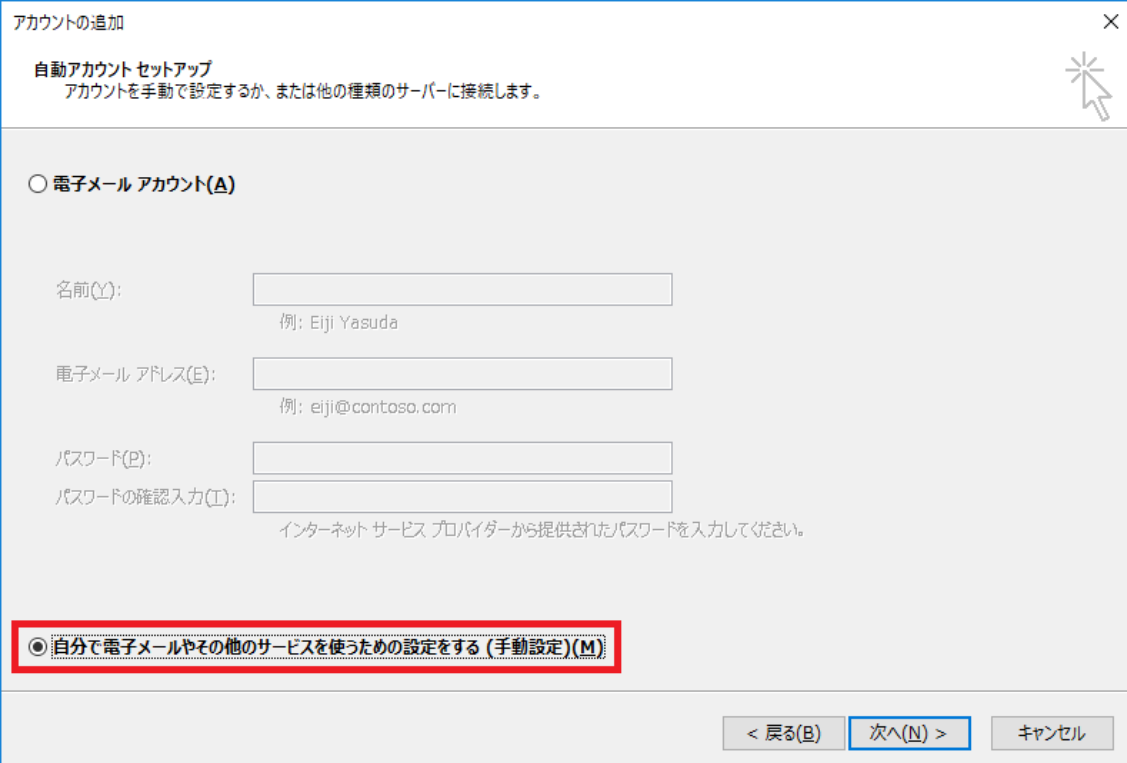
## 1. Microsoft Outlook を起動します。

Outlook を初めて起動した場合は、手順3からお進みください。

## 2. 「ファイル」→「アカウントの追加」の順にクリックします。



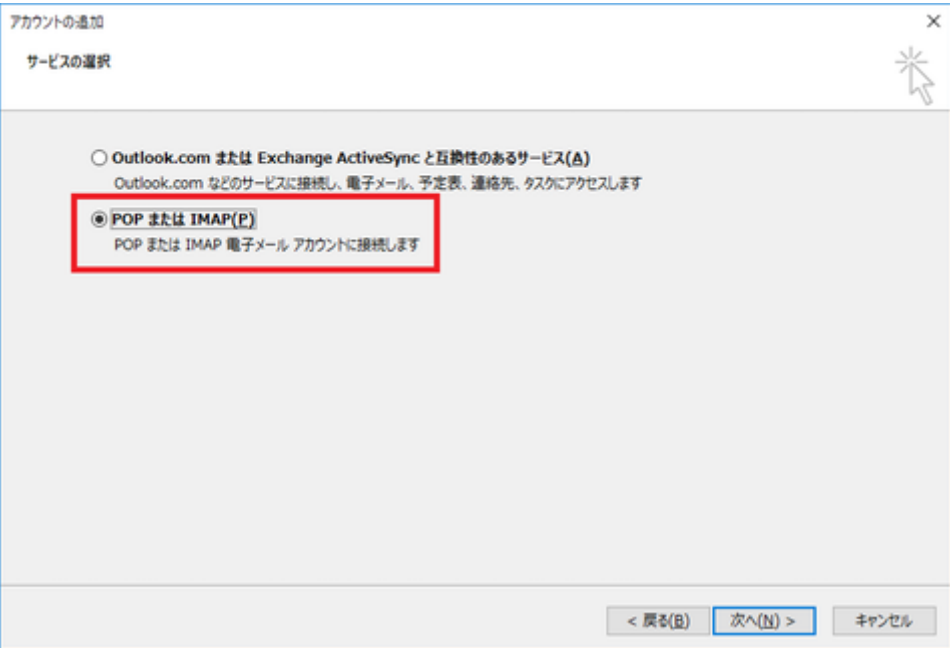
3. アカウントの追加が表示されるので、「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)(M)」にチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックします。



The screenshot shows a dialog box titled "アカウントの追加" (Add Account) with a close button (X) in the top right corner. Below the title is the section "自動アカウントセットアップ" (Automatic Account Setup) with the instruction "アカウントを手動で設定するか、または他の種類のサーバーに接続します。" (Set up the account manually or connect to a different type of server). The main content area is titled "電子メール アカウント(A)" (Email Account (A)) and contains three input fields: "名前(N):" (Name) with the example "Eiji Yasuda", "電子メール アドレス(E):" (Email Address) with the example "eiji@contoso.com", and "パスワード(P):" (Password) with a confirmation field "パスワードの確認入力(I):" (Confirm Password). Below these fields is the instruction "インターネット サービス プロバイダーから提供されたパスワードを入力してください。" (Enter the password provided by the Internet Service Provider). At the bottom, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "次へ(N) >" button is highlighted with a blue border. A red box highlights the radio button option "自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)(M)" (Set up for using email or other services manually (M)).

ここでは、「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)(M)」にチェックを入れると、他の項目はグレーアウト表示になりますので、「次へ(N)」をクリックします。

4. 電子メールサービスの選択画面が表示されるので、「POP または IMAP(P)」にチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックします。



The screenshot shows the same dialog box, but now the section is titled "サービスの選択" (Service Selection). There are two radio button options: "Outlook.com または Exchange ActiveSync と互換性のあるサービス(A)" (Outlook.com or compatible service (A)) with the instruction "Outlook.com などのサービスに接続し、電子メール、予定表、連絡先、タスクにアクセスします" (Connect to services like Outlook.com, access email, calendar, contacts, tasks), and "POP または IMAP(P)" (POP or IMAP (P)) with the instruction "POP または IMAP 電子メール アカウントに接続します" (Connect to POP or IMAP email account). The "POP または IMAP(P)" option is selected and highlighted with a red box. At the bottom, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "次へ(N) >" button is highlighted with a blue border.

## 5. POP と IMAP のアカウント設定が開きますので、内容に従って入力します。

アカウントの追加

POP と IMAP のアカウント設定  
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

**ユーザー情報**  
名前(Y):   
電子メール アドレス(E):

**サーバー情報**  
アカウントの種類(A): POP3  
受信メール サーバー(I):   
送信メール サーバー (SMTP)(Q):

**メール サーバーへのログイン情報**  
アカウント名(U):   
パスワード(P):   
 パスワードを保存する(B)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

**アカウント設定のテスト**  
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。  
アカウント設定のテスト(I)  
 [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

**新しいメッセージの配信先:**  
 新しい Outlook データ ファイル(W)  
 既存の Outlook データ ファイル(X)  
 参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

### － POINT －

入力にあたり、判別しにくい文字にご注意ください。

「1(数字・イチ)」、「l(アルファベット小文字・エル)」

「0(数字・ゼロ)」、「O(アルファベット大文字・オー)」

ACCSnet のメールサーバは、現在下記の2種類です。

vmail1.accsnet.ne.jp

(ブイ・エム・イー・アイ・エル・数字イチ・記号ドット・イー・シー・シー・エス・エヌ・イー・ティー・記号ドット・エヌ・イー・記号ドット・ジェー・ピー)

vmail2.accsnet.ne.jp

(ブイ・エム・イー・アイ・エル・数字ニ・記号ドット・イー・シー・シー・エス・エヌ・イー・ティー・記号ドット・エヌ・イー・記号ドット・ジェー・ピー)

ACCSnet にて発行しておりますアカウントの初期状態は、下記の4種の法則が存在します。

aml00000 (エー・エム・エル・数字5桁)

amx00000 (エー・エム・エックス・数字5桁)

pml00000 (ピー・エム・エル・数字5桁)

pmx00000 (ピー・エム・エックス・数字5桁)

### 入力項目

#### 「ユーザー情報」

名前(Y): メールを送信した際に送信先に表示される名前を入力します。

電子メール アドレス(E): ACCSnet 設定情報の「メールアドレス」に記載されているメールアドレスを入力します。

#### 「サーバー情報」

アカウントの種類 (A):

「POP3」が選択されていることを確認します。

受信メールサーバー(I):

ACCSnet 設定情報の「メールサーバ」に記載されている、サーバーアドレス「vmail〇.accsnet.ne.jp」を入力します。

送信メールサーバー(SMTP)(O):

ACCSnet 設定情報の「メールサーバ」に記載されている、サーバーアドレス「vmail〇.accsnet.ne.jp」を入力します。

※受信メールサーバー(I)に入力した内容と同一になります。

### 「メールサーバーへのログオン情報」

アカウント名(U):

ACCSnet 設定情報の「アカウント」に記載されているアカウントを入力します。

※お客様自身でアカウントを変更した場合は変更したアカウントを入力します。

パスワード(P):

ACCSnet 設定情報の「パスワード」に記載されているパスワードを入力します。

※お客様自身でパスワードを変更した場合は変更したパスワードを入力します。

※「パスワードを保存する(R)」にチェックを入れると、Outlook を起動した際に、自動的にメールを受信できます。

※「メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)に対応している場合は、チェックボックスをオンにしてください(Q)」にはチェックを入れないでください。

### 「新しいメッセージの配信先」

通常は新しい Outlook データファイル(W)を選択してください。

右下の「詳細設定(M)」が押せるようになりますので、「詳細設定(M)」を押してください。

インターネット電子メール設定が表示されますので、上部にあるタブから「送信サーバー」項目を開いてください。

インターネット電子メール設定

全般 **送信サーバー** 詳細設定

送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

次のアカウントとパスワードでログオンする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

パスワードを保存する(R)

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(I)

OK キャンセル

「送信サーバー (SMTP) は認証が必要 (O)」にチェックを入れてください。

「受信メール サーバーと同じ設定を使用する (U)」にチェックを入れてください。

つぎに「詳細設定」項目を開いてください。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー **詳細設定**

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): 995 標準設定(D)

このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O): 465

使用する暗号化接続の種類(C): SSL

サーバーのタイムアウト(I)

短い 長い 1分

配信

**サーバーにメッセージのコピーを置く(L)**

サーバーから削除する(R) 14 日後

[削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

「受信サーバー (POP3)(I):」の項目に「995」を入力してください。

「このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)」の項目はチェックを入れてください。

「送信サーバー (SMTP)(O):」の項目に「465」を入力してください。

「サーバーにメッセージのコピーを置く(L)」の項目はお客様のご利用環境に合わせてチェックを入れてください。

※サーバーがいっぱいになると新しいメールを受け取れなくなるため、お使いの PC が一台のみ  
の場合はチェックを外していただくことを推奨します。

右下の「OK」ボタンを押し、ウインドウを閉じてください。

すべて入力しましたら元の画面で「アカウント設定テスト(T)」が押せるようになりますので、「ア  
カウ  
ント設定テスト(T)」を押してください。

6. アカウントのテスト画面に移行しますので、完了するまで待ちます。

| タスク                        | 状況 |
|----------------------------|----|
| ✓ 受信メール サーバー (POP3) へのログオン | 完了 |
| ✓ テスト電子メール メッセージの送信        | 完了 |

「すべてのテストが完了しました。「閉じる」をクリックして続行してください。」と表示されましたら、「閉じる(C)」をクリックしてテストアカウント設定画面を閉じてください。

※上記画面にて、タスクタブに赤い×マークまたは、状況タブに失敗と表示される場合は、入力内容に誤りがございますので、再度手順5の入力内容をご確認ください。

「次へ(N)」をクリックしてください。

7. 「セットアップの完了」と表示されましたら、「完了」をクリックして画面を閉じます。

すべて完了しました

アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。

別のアカウントの追加(A)...

< 戻る(B)

完了

以上で Microsoft Outlook 2016 の設定は完了です。